

区役所建て替えよりも 区民の生活を守れ！地域の公共施設を守れ！



高砂保健センター前の署名行動

区議会第2回定例会は6月9日より25日までの会期で行われました。4月に消費税が増税されたもとの最初の定例会で、日本共産党区議団は、国保料、後期医療の保険料の軽減、復興増税の徴収中止など、区民の生活を支える提案を行ないました。しかし区は、この声に応えないばかりか、原動機付き自転車、軽自動車税の大幅増税など、区民の負担をさらに増やす施策を強行しました。

「保健センターなくさないで」

アンケートに切実なお母さんたちの声

区議団の保健センターアンケートには、「妊娠、出産に際し、母親学級に参加しました。産後も育児学級、グループに参加し、お友達もできました。こういう機会がなければ、育児に不安をかかえたり、孤独を感じたりしたと思います。大切な場所だと思えます。でも、建物の古さが気になります。保健センターこそ建て替えてほしいです。」という切実な声がたくさん寄せられました。

区の答弁はしるもどろ

区は、「中間のまとめ」では、「保健センターの全廃は理論的には可能」という考え方を示していましたが、今回の「保健センターのサービス向上」についての検討報告書（案）では、基本姿勢として「拠点として地域にサービスを提供すること」を「方を見直す」と保健センター全廃の方針を明確にしました。一方で、その方針を隠すために、小菅・高砂保健センターを廃止後、残った四カ所については「サービス提供の拠点とする」と全く矛盾したものにしています。これほど区民をバカにしたものはありません。

区は、サービス向上策？を示していますが、とても成り

保育所 待機児激増

実態とかけ離れた整備計画を改めよ

今年4月1日の待機児は百十一人と増えています。実際に認可保育所に入れない子どもは四三六人におよんでいます。認証保育所や保育園などの活用は待機児とせず、小さくみせかけています。こうした中、年度途中に入所できる緊急対策や民間まかせでない保育所の設置が求められています。

ところが区長は、区が直営で設置すると「多額の財政負担を要する」からと増設は民間事業者が中心で、年度途中の待機児対策としては「弾力化により、可能な限りの受け入れを行ってきた」としています。しかし、この「弾力化」というのは、それぞれの保育園にお願ひし、定員を超えて受

区のサービス向上計画とは

— 保健センターで受けられたサービスが解体されてしまいます —



立つものではありません。これからの戦いが大切。この間の議会論戦と区民運動で、保健師の増員、高砂地域のがん検診の実施などの成

果をあげることができました。九月議会で廃止条例をださないためにも存続の署名運動をさらに広げることが重要になっていきます。

け入れてもらうのですが、実際には昨年度では、五〇人の待機児しか解消されていません。結局、今年も百十一人の解消の見込みはなく、一〇月になれば、待機児は五百人規模になることが容易に予想されます。

待機児ゼロと言ってきた区長ですが、これでは「無策」といわれても仕方ありません。直営で設置することも含め、需要に見合う増設が必要です。今度の定例区議会では、小規模保育施設の整備や認定こ



発行 日本共産党
葛飾区議会議員団
5654-8520 (直通)

日本共産党 葛飾区議団だより

日本共産党区議団のホームページをごらんください
<http://www.cpi-media.co.jp/jcp-katusika/>



放射線 1000 カ所測定 報告集会が開かれる



去る6月28日、葛飾区勤労福祉会館で放射線一〇〇〇カ所測定報告集会が行われ、七〇人余りが参加しました。

福島原発事故から3年余りがたちますが、都立水元公園など、今でもホットスポットが散在し、区民の健康が不安です。

今回は、「子どもと区民を放射能から守る葛飾連絡会」などの呼びかけで、市民団体や個人などが区内一〇五四カ所を緊急に測定して、結果を持ち寄りました。

日本大学準教授の野口邦和さんより記念講演を受け、和泉なおみ都議が挨拶をしました。



ぎゅう詰めの運動会、父母席は全部立ち見

学校選択制を廃止 16年度より指定校変更制度に

葛飾区教育委員会は六月議会の文教委員会、学校選択制を廃止およびその後の制度変更について説明を行いました。

学力テストの公表はやめるべき

日本共産党区議団は、学校選択制は、学力テストの公表とあわせ、選ばれた学校と選ばれない学校を人為的につくりだすもので、教育委員会自身が格差を助長し、子どもたちと教職員に管理・競争をおおるものであると厳しく指摘し、廃止を要求してきました。

この間区教委は、議会で「災害等で子どもたちの安全を確保するために改善が必要」などと表明していましたが、今回学校選択制の廃止を決断し



たことは歓迎できるものですが、以前の教育委員会は、以前の

指定管理業者の「タイムズ24」問題 全容解明とただちに指名停止を

駐車場指定管理会社「タイムズ24」が、港区の指定管理者として管理していた駐車場の従業員が、業務上横領をしていたことが発覚し、会計管理のずさんさが明らかにまりました。

葛飾区でもこの会社が

指定校変更制度に戻すものではないとしていますが、学校選択制が実施される前にも、通学区域以外の学校に就学を希望した場合、教育的配慮や教育委員会が認める要件に当てはまれば指定校変更が認められていました。

新制度では、毎年10月初旬に通学区域の学校の就学通知が届きます。指定

校がこれで確定しますが、変更したい場合は変更届を提出します。

通学区域内の学校よりも近距離に他の学校がある場合や、選択制によって兄弟姉妹がすでに通学区域以外の学校に通っている場合などは認められることになっています。

など正式な手続きを取ることなく、子会社だからという理由で「タイムズ24」に変更したいきざつがあります。

党区議団は、この馴れ合いを批判しましたが、そもそも指定管理者制度そのものが、公の施設の運営を「ブラックボックス」化する危険性の大きいものです。

日本共産党区議団は、事件の全容解明と「タイムズ24」に対する指名停止処分を求めています。

金町駅南口駐車場は、当初「パーク24」という会社が指定管理者として議決されましたが、区はその後、議会の承認を得

13議員が賛成するも自公の反対で上程されず

——集团的自衛権反対の意見書

今回の議会に日本共産党は、「解釈改憲による集团的自衛権の行使容認に反対する意見書」を提案しましたが、意見書調整委員会（非公式）で自民、公明が反対して、本会議への上程はされませ



生活法律相談

区内で週に1〜2回の割合で生活法律相談を行っています。震災についてもご相談下さい。

(事前に連絡をお願いします。)

第三水曜日

中村しんご区議

090(8686)2671

第二水曜日

三小田准一区議

090(8040)1181

第四水曜日

中江秀夫区議

090(2176)5756

第三金曜日

おりかさ明実区議

090(3524)6719

第一水曜日

天野ゆうや区議

080(5462)1100

第二水曜日

和泉なおみ 都議会議員
社会保険労務士

03(3697)2101